

# 子宮頸がん予防に関する 国際シンポジウム

## 2014.6/20 金 14:00~19:00

**会場** ベルサール八重洲 Room D・E

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7  
八重洲ファーストフィナンシャルビル2F  
TEL 03-3548-3770 (代表)

この国際シンポジウムでは、「子宮頸がん予防」ならびに「慢性疼痛」の専門家が一堂に会し、国内外の最も正確な情報を提供します。

日本医学会高久史磨会長のご挨拶、日本産科婦人科学会小西郁生理事長の基調講演の後、国の内外からの最高レベルの演者を招いて、子宮頸がん予防、とくに、HPVワクチンの安全性と有用性に関する講演が行われます。

**Invited Speaker** 海外からのスピーカー (同時通訳あり)

### ザビエル・ボッシュ博士

- ◆スペイン・カタルーニャがん研究所  
がん疫学研究プログラム部長
- ◆世界保健機関理事  
世界のがん疫学・公衆衛生・HPV研究のリーダー



### ジュリア・ブラザートン博士

- ◆オーストラリア国立  
HPVワクチンプログラムレジスタ部長  
HPV感染・病変減少を果たした  
豪国HPVワクチン接種レジストリ部長



### Program

#### 主な講演内容

子宮頸がん予防の重要性～命を救い、家族を守る～

慢性疼痛とは何か—その原因と治療法について

世界と日本におけるHPV感染とHPV関連がんの疫学・公衆衛生

オーストラリアにおけるHPVワクチン政策と推奨—その評価

子宮頸がんが及ぼす患者と家族の悲しみ

HPVワクチンの効果と安全性—世界に広がるインパクト

HPVワクチン接種の安全性：厚労省データの解析

パネルディスカッション 誤解を超えて、命と家族を守る—私たちの悲鳴と願い

### 参加申し込み

参加ご希望の方は  
必要事項をご記入の上、  
実行委員会事務局まで  
FAXにてお申し込みください。

名前	
ご所属	
ご連絡先	

「WACC in Japan」実行委員会事務局 行

**FAX: 03-5561-2912**

【主催】「WACC in Japan」実行委員会

【共催】公益社団法人日本産科婦人科学会・公益社団法人日本産婦人科医会・公益社団法人日本婦人科腫瘍学会・子宮頸がん征圧をめざす専門家会議

【後援】公益社団法人日本医師会・公益社団法人日本看護協会・公益社団法人日本小児科学会・一般社団法人日本小児科医会 他